

# 1章.調査の概要

## 【小・中学校保護者意向調査】

### (1) 調査の目的

平成25年3月に震災により被災した中浜小学校と山下第二小学校の併設状態解消を最優先に検討し、併せて、将来の学校再編について幅広い視点から検討が必要であるとし、「山元町小・中学校教育環境整備方針」を策定しました。

全国的な少子高齢化により、児童生徒数の減少が進んでおり、本町においても先の東日本大震災の影響等も含め、現在も児童生徒数の減少が進んでいる状況です。

このような状況の中、今後の本町の学校再編のあり方について、「児童生徒にとってよりよい学び(学校生活)ができる環境をつくる」ことを第一義に、前回の教育整備方針を含め、改めて本町の学校再編の在り方について検討を進めることとし、意向調査を実施するものです。

### (2) 調査対象

町内全小・中学校の保護者を対象(一部、保護者とともに児童・生徒が回答する設問含む)

### (3) 調査期間

平成30年1月15日にて各学校から配布。1月29日を最終期日として学校にて回収

### (4) 調査項目

区分		設問内容
1	回答者属性	問1. 年齢、性別について
		問2. 居住する行政区について
		問3. 中学生以下の子どもの人数
2	学校の存在意義と学校の教育環境に期待するもの	問4. 自身が考える学校の存在意義やあり方について
		問5. 小学校と中学校の教育環境に望むこと
3	望ましい学校規模	問6. 小学校の学校規模について
		問7. 中学校の学校規模について
		問8. 複式学級について
4	学校再編検討の必要性について	問9. 学校再編検討の必要性について
		問10. 上記問9の「検討要」とした場合に重要と思うこと
		問11. 上記問9の「検討不要」の理由
5	学校再編における子どもたちの意向(兄弟姉妹がいる場合は上級生が対応)	問12. 学校規模に関して
		問13. 学校規模の回答に対する理由
		問14. 複式学級について
6	自由記述	問15. 小中学校再編を進めるにあたり、意見や心配事について

### (5) 回収状況

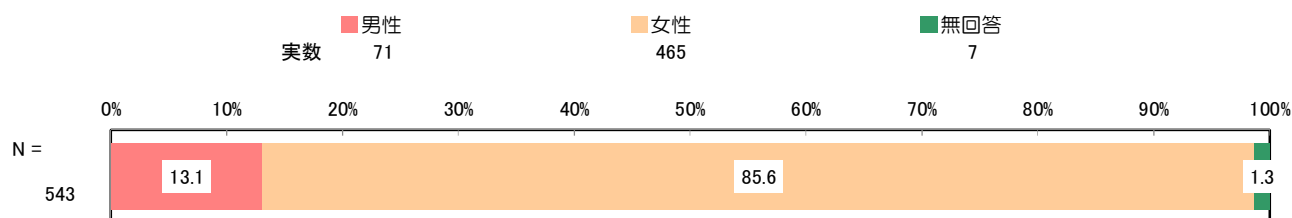
配布数	総回収数	有効回収数	無効回収数	総回収率	有効回収率
625件	547件	543件	4件	87.5%	86.9%

## 2章. 意向調査結果

### 1 回答者の属性

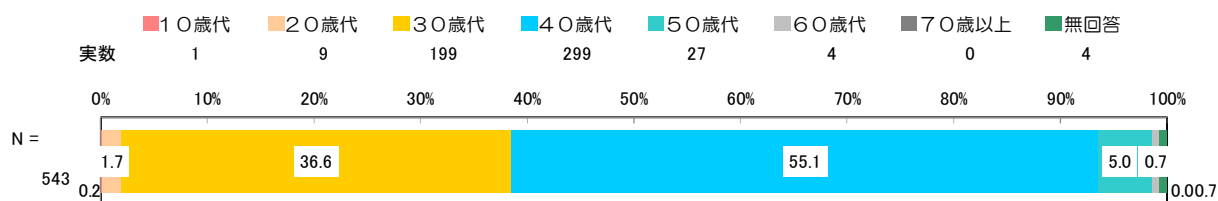
#### (1) 性別【問 1－①】

回答者の性別構成は、「男性」が 13.1%、「女性」が 85.6%であった。



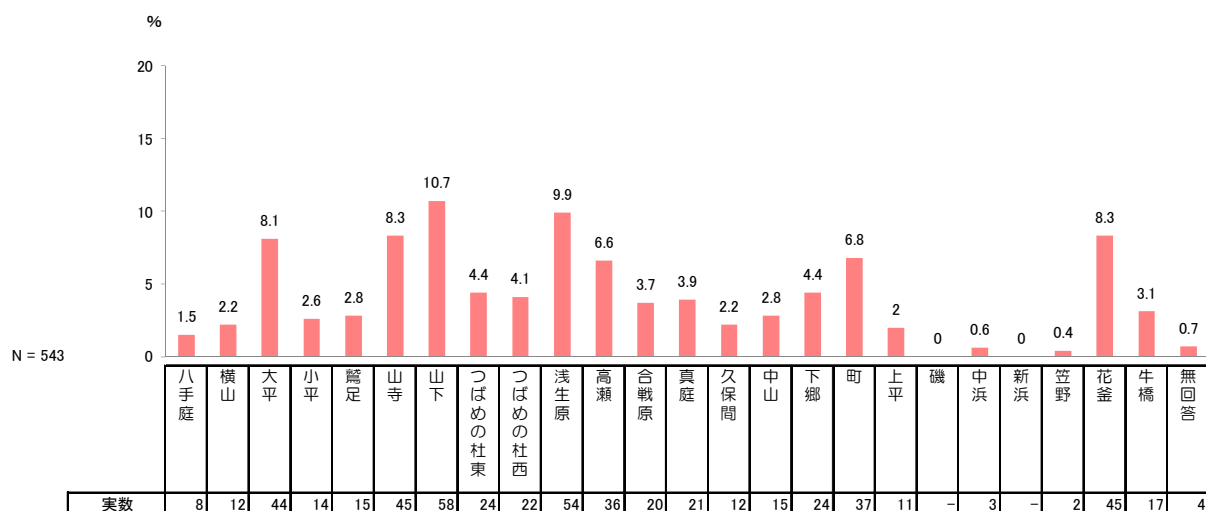
#### (2) 世代別【問 1－②】

世代別年齢で最も多いのは、「40 歳代」55.1%、次いで「30 歳代」36.6%、「50 歳代」5.0%であり、回答者の 5 割が 40 歳代、4 割弱が 30 歳代であった（地域住民意向調査、保育所・幼稚園保護者意向調査における対称者との重複を避けた結果）。



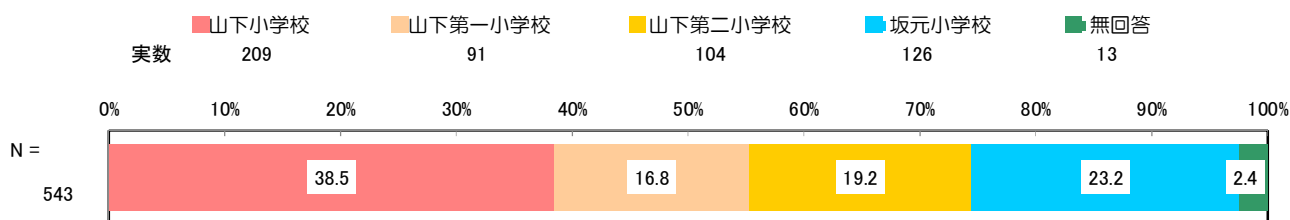
#### (3) 居住する行政区【問 2－①】

回答者の居住する行政区で最も多いのは、全体で「山下地区」10.7%、次いで「浅生原地区」9.9%、「山寺地区」「花釜地区」とともに 8.3%であった。



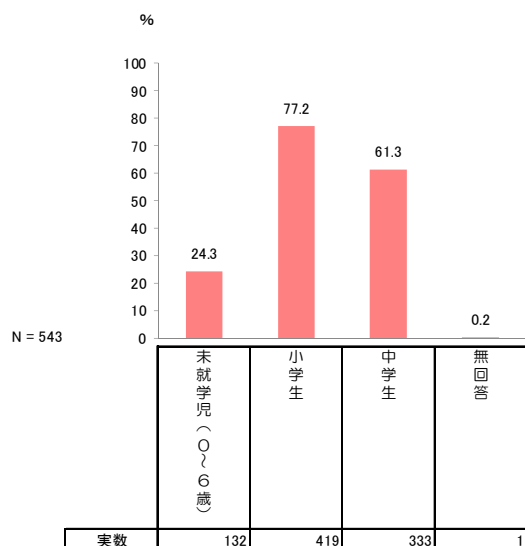
#### (4) 居住する小学校区【問 2-②】

回答者が居住する小学校区で最も多いのは、「山下小学校区」38.5%、次いで「坂元小学校区」23.2%、「山下第二小学校区」19.2%であった。



#### (5) 中学生以下の子どもの人数【問 3】

中学生以下の子どもがいる人数で最も多いのは、全体で「小学生」419人（77.2%）、次いで「中学生」333人（61.3%）、「未就学児」132人（24.3%）であった。

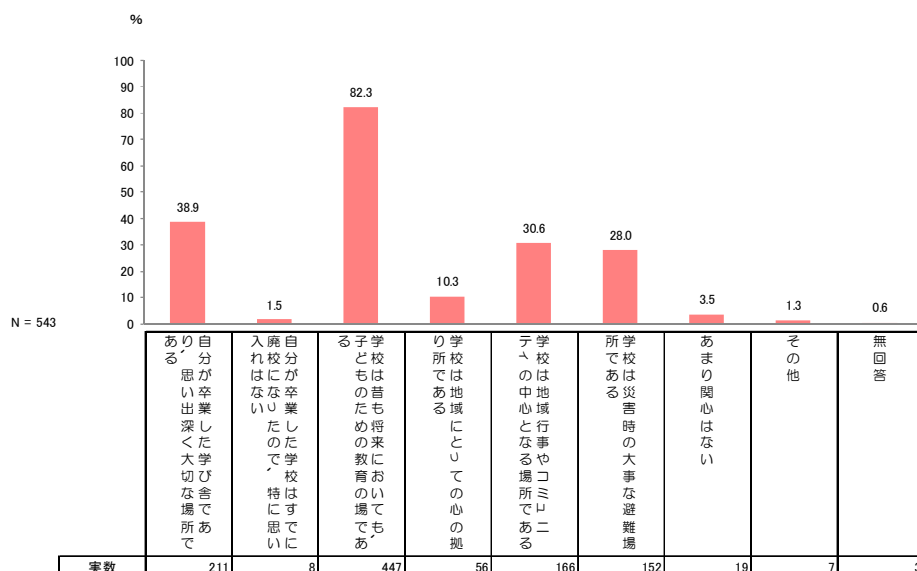


## 2 学校の存在意義と学校の教育環境に期待するもの

#### (1) あなたにとって学校とは（複数回答）【問 4】

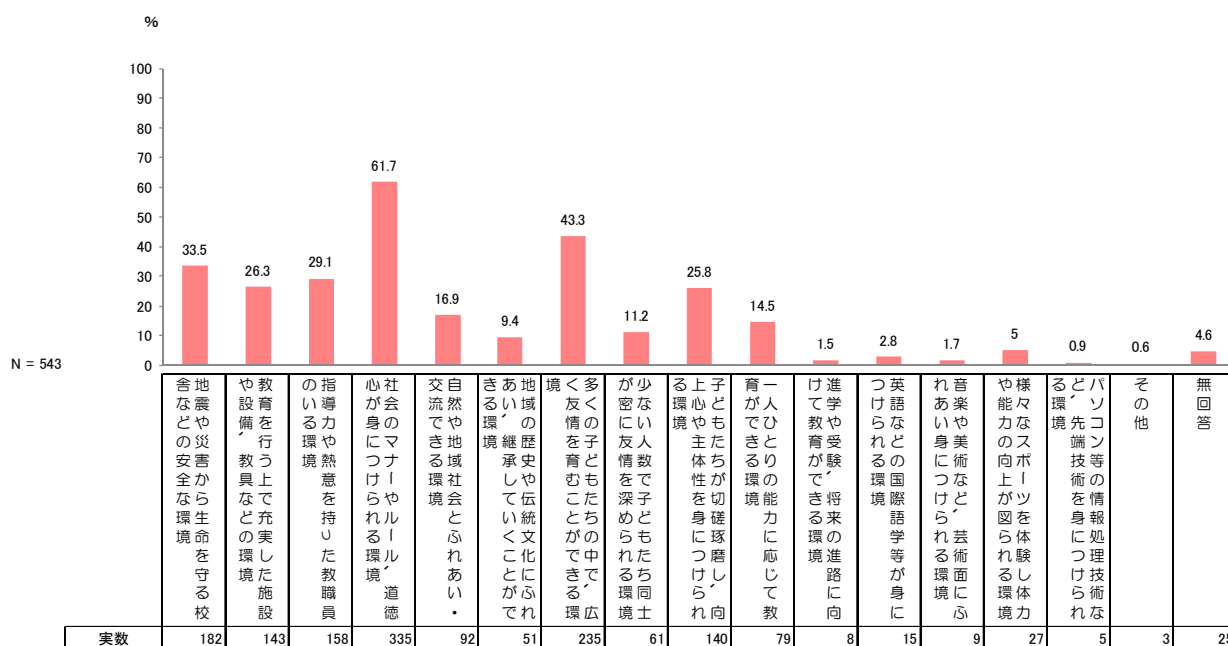
「あなたにとって学校とはどのようなものですか？」という問いで最も多いのは、「学校は昔も将来においても子どものための教育の場…」447票（82.3%）、次いで「自分が卒業した学び舎で思い出深い…」211票（38.9%）、「学校は地域行事やコミュニティの中心…」166票（30.6%）であった。

8割以上の回答者は、「学校とは子どもたちのためのもの」との思いにて回答していることが伺える。



## (2) 小学校の教育環境に期待すること（複数回答）【問 5-①】

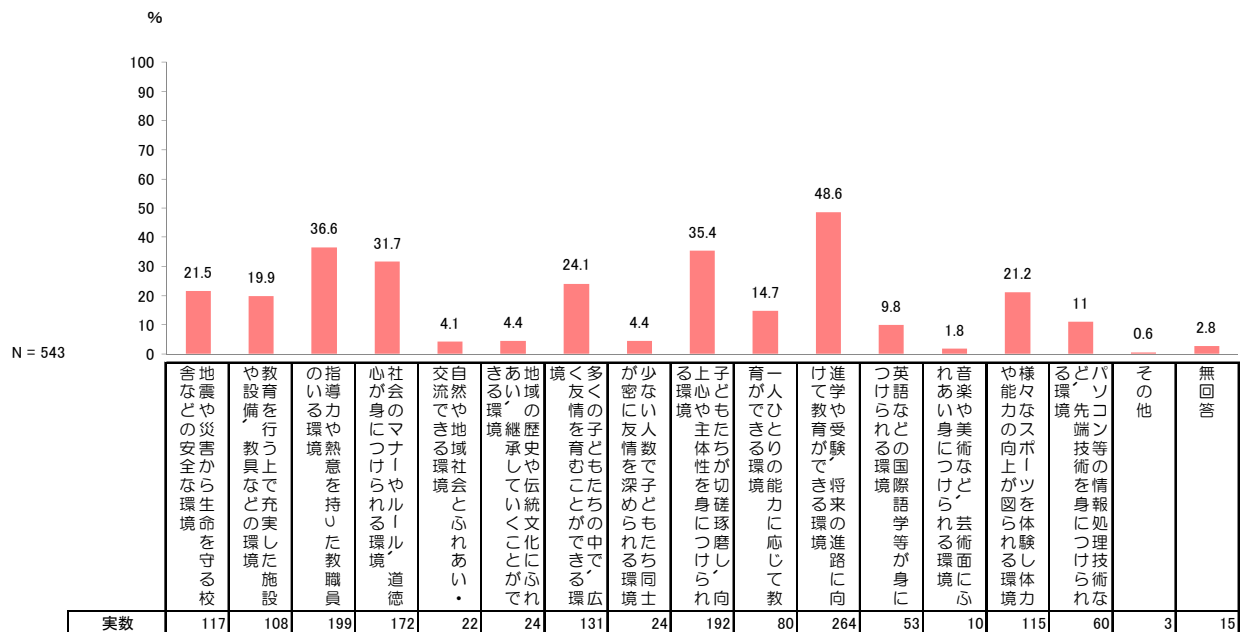
小学校の教育環境に期待することで最も多いのは、「社会のマナーやルール、道徳心が身につく…」 335 票（61.7%）、次いで「多くの子どもたちの中で友情を育む…」 235 票（43.3%）、「地震や災害から生命を守る安全な校舎…」 182 票（33.5%）であった。これらのことから、小・中学校保護者が期待する小学校の教育環境とは、多くの子どもたちの中で友情を育みながら、社会性や道徳心を身に付けられる環境と捉えられる。



## (3) 中学校の教育環境に期待すること（複数回答）【問 5-②】

中学校の教育環境に期待することで最も多いのは、「進学や受験、将来の進路に向けた教育…」 264 票（48.6%）、次いで「指導力や熱意を持った教職員のいる…」 199 票（36.6%）、「子どもたちが切磋琢磨し…」 192 票（35.4%）であった。

これらのことから、地域が期待する中学校の教育環境とは、進学・受験などの将来に向けて、子どもたち同士が切磋琢磨し、勉学やスポーツに主体的に励んでいける環境と捉えられる。

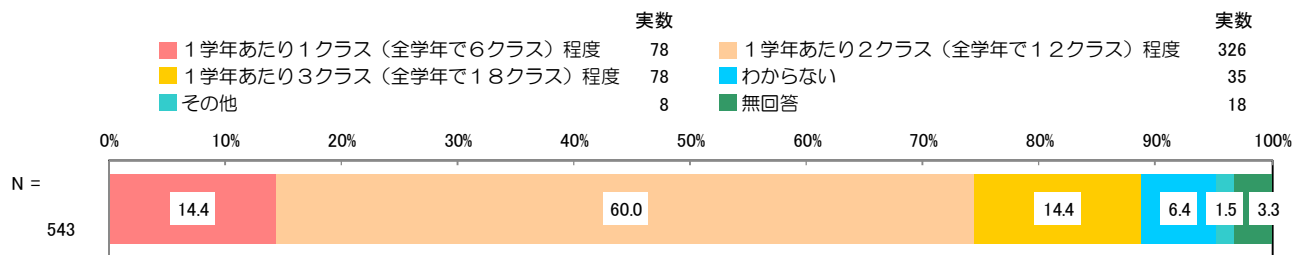


### 3 望ましい学校規模

#### (1) 望ましいと考える小学校1学年あたりのクラス数【問6-①】

望ましいと考える小学校1学年あたりのクラス数で最も多いのは、「2クラス程度」60.0%、次いで「1クラス程度」「3クラス程度」14.4%であった。

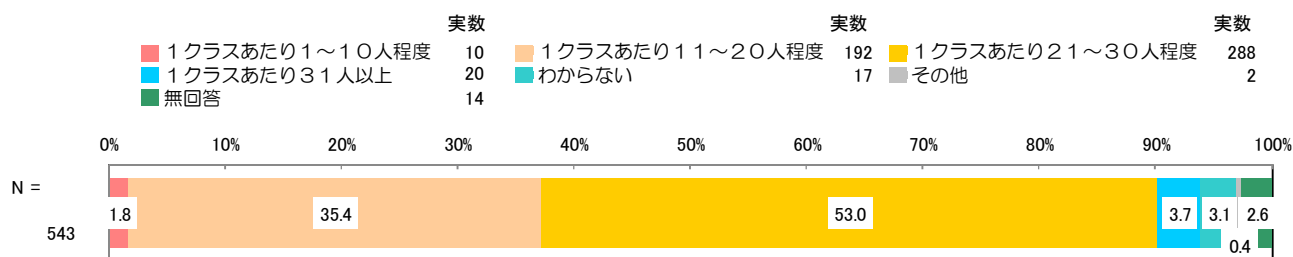
回答者の半数以上が1学年あたり「2クラス程度」を望んでいることが伺える。



#### (2) 望ましいと考える小学校1クラスあたりの児童数【問6-②】

望ましいと考える小学校1クラスあたりの児童数で最も多いのは、「21～30人程度」53.0%、次いで「11～20人程度」35.4%、「31人以上」3.7%であった。

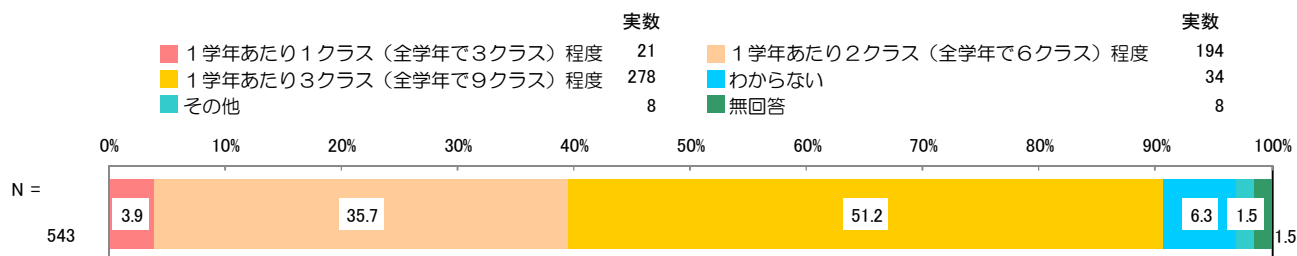
回答者の半数以上が1クラスあたり「21～30人程度」を望んでいることが伺える。



### (3) 望ましいと考える中学校1学年あたりのクラス数【問7-①】

望ましいと考える中学校1学年あたりのクラス数で最も多いのは、「3クラス程度」51.2%、次いで「2クラス程度」35.7%、「わからない」6.3%と続く。

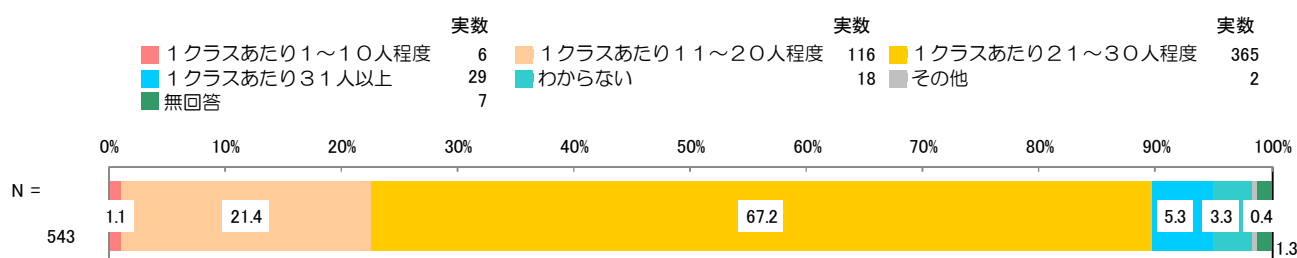
回答者の5割が、中学校1学年あたり「3クラス程度」としていることから、中学校においては、小学校より同学年が多い規模を望んでいることが伺える。



### (4) 望ましいと考える中学校1クラスあたりの生徒数【問7-②】

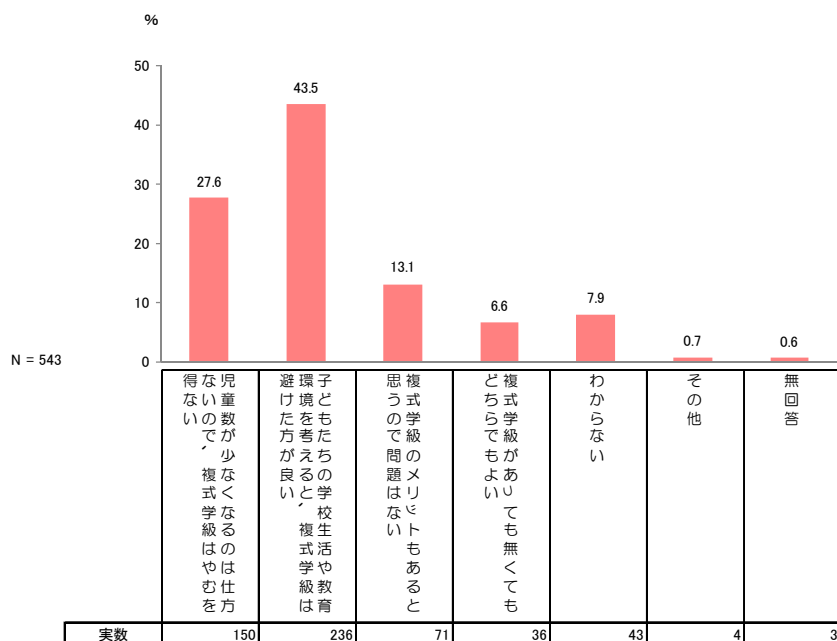
望ましいと考える中学校1クラスあたりの生徒数で最も多いのは、「21～30人程度」67.2%、次いで「11～20人程度」21.4%、「31人以上」5.3%と続く。

回答者の6割以上が1クラスあたり「21～30人程度」と、クラス人数に関しては小学校と同じ程度のクラス人数を望んでいることが伺える。



### (5) 複式学級の編成について【問8】

複式学級の編成について最も多いのは、「…複式学級は避けた方が良い」43.5%、次いで「…複式学級はやむを得ない」27.6%、「複式学級のメリットもある…問題ない」13.1%であった。このことから、回答者の4割が複式学級は避けた方が良いとの意向を示している。



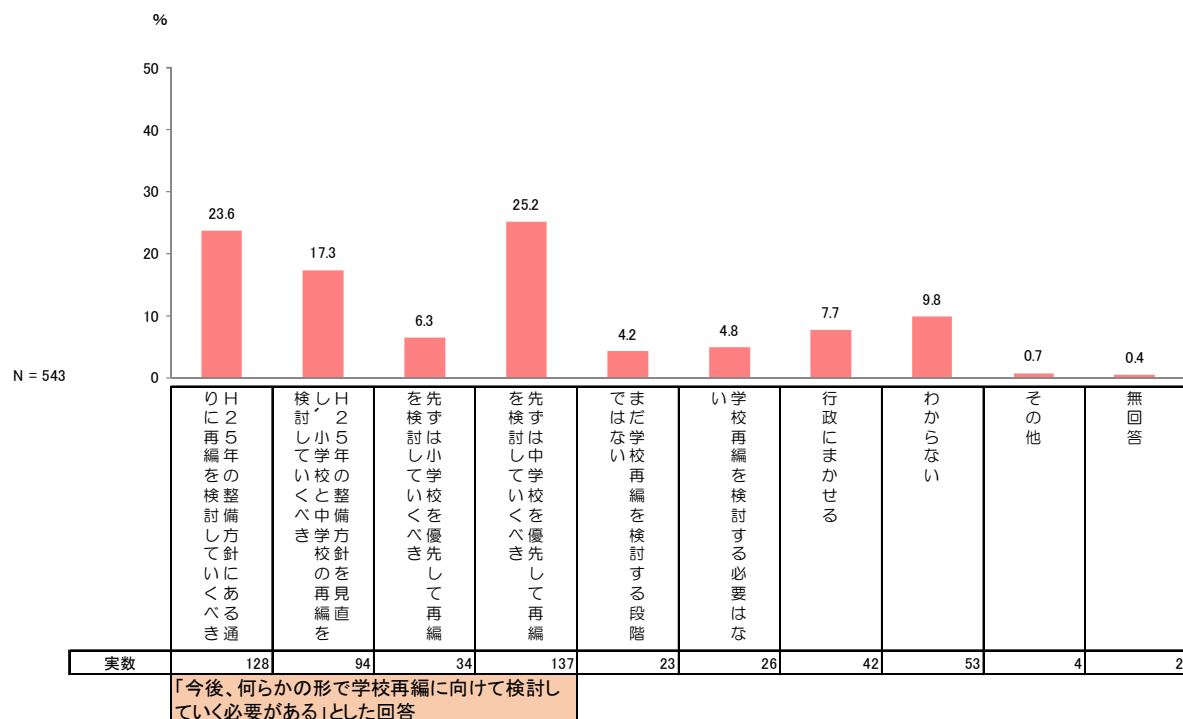
## 4 山元小・中学校再編における検討の必要性について

### (1) これからの山元町小・中学校再編の検討について【問 9】

今後の山元町の教育環境を考える上での「山元町小・中学校再編における検討の必要性」の問いで、最も多いのは「まずは中学校を優先して再編を検討…」25.2%、次いで「H25 年の整備方針にある通りに再編を検討…」23.6%、「H25 年の整備方針を見直し再編を検討…」17.3%であった。

「まずは小学校を優先して再編を検討…」の結果を含めると、回答者の7割以上が、「今後、何らかの形で学校再編に向けて検討していく必要がある」と考えていることが伺える。

一方、「学校再編を検討する必要はない」4.8%、「まだ学校再編を検討する段階ではない」は4.2%、合わせて9.0%と、再編の検討を不要とする意向は1割に満たない結果となった。



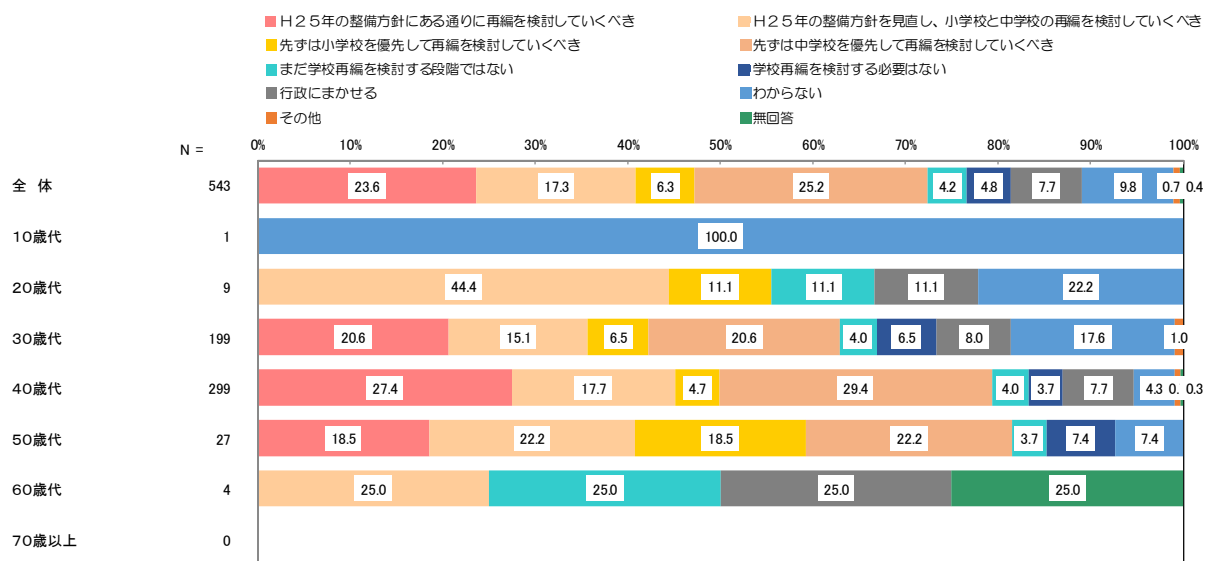
## 【世代別クロス集計】

ここでは、前述した「山元町小・中学校再編における検討の必要性」の結果について、世代別にその傾向をみていくものとする。

「今後、何らかの形で学校再編の検討は必要」とする世代で最も多いのは、50歳代 81.4%、次いで40歳代 79.2%、30歳代 62.8%、20歳代 55.5%であった。

その他、10歳代は「わからない」100%、60歳代は「H25年整備方針見直し再編検討」「まだ学校再編を検討する段階ではない」「行政にまかせる」「無回答」が各々25%であった。

一方、「まだ学校再編を検討する段階ではない」と「学校再編を検討する必要はない」を合わせて多かった世代は、20歳代及び50歳代が11.1%、次いで30歳代10.5%、40歳代7.7%であった。



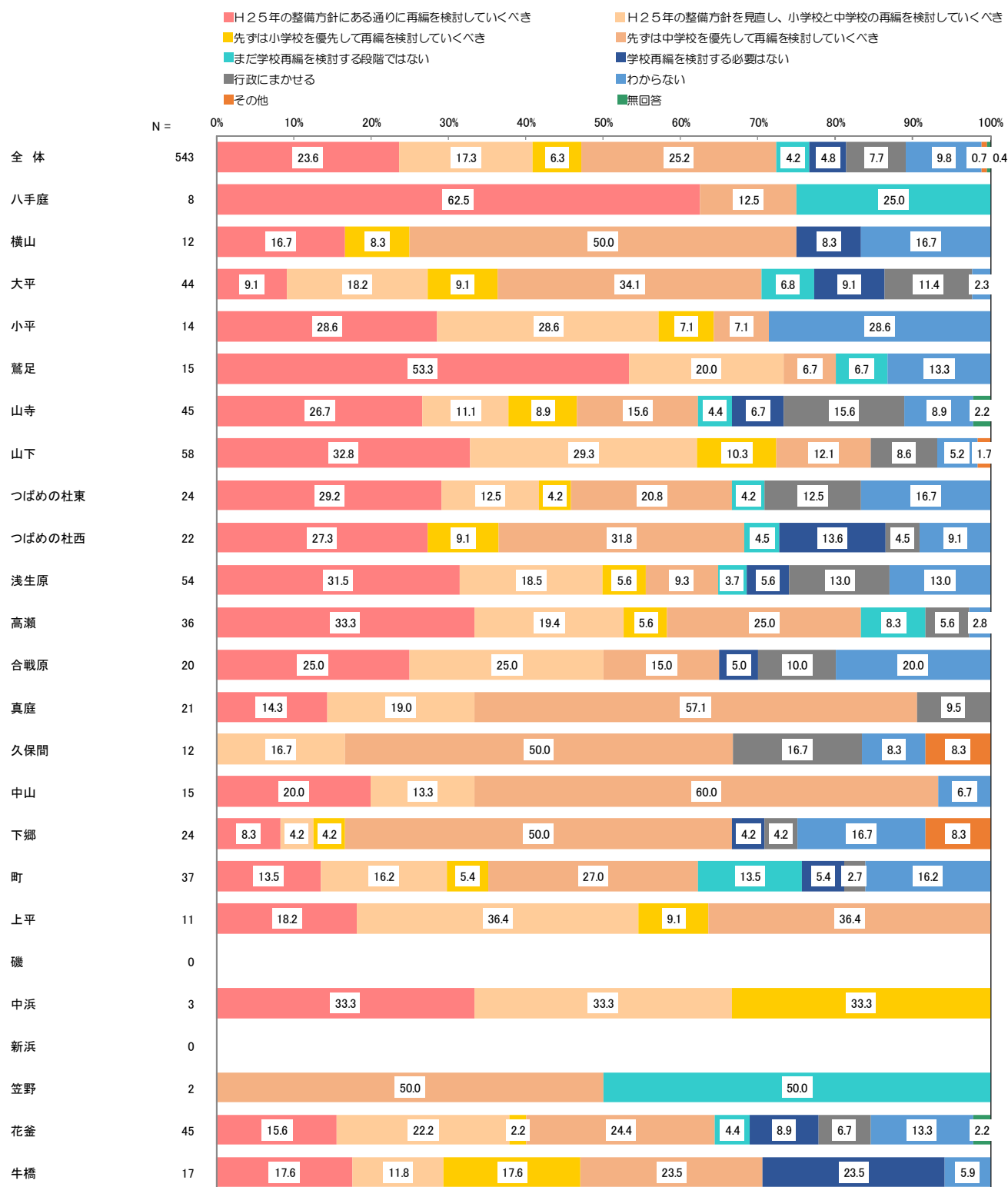
	N=	H25年の整備方針にある通りに再編を検討していくべき	H25年の整備方針を見直し、小学校と中学校の再編を検討していくべき	まずは小学校を優先して再編を検討していくべき	まずは中学校を優先して再編を検討していくべき	まだ学校再編を検討する段階ではない	学校再編を検討する必要はない	行政にまかせる	わからない	その他	無回答
全体	543	128	94	34	137	23	26	42	53	4	2
10歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
20歳代	9	0	4	1	0	1	0	1	2	0	0
30歳代	199	41	30	13	41	8	13	16	35	2	0
40歳代	299	82	53	14	88	12	11	23	13	2	1
50歳代	27	5	6	5	6	1	2	0	2	0	0
60歳代	4	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
70歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※構成比が0.0%の項目については、グラフ内の値(数値)の表記を省略している。



## 【行政区別クロス集計】

同じように、前述した「山元町小・中学校再編における検討の必要性」の結果について、ここでは行政区別にその傾向をみていくものとする。ほとんどの行政区が6割以上の割合で「今後、何らかの形で学校再編の検討は必要」としている。一方、「まだ学校再編を検討する段階ではない」と「学校再編を検討する必要はない」を合わせて多かった行政区は、「町」18.9%、次いで「つばめの杜西」18.1%、「大平」15.9%、「山寺」11.1%であった。



	N=	H25年の整備方針を 見直し、小学校と中学校の 再編を検討していくべき H25年の整備方針に ある通りに再編を検討 していくべき	H25年の整備方針を 見直し、小学校と中学校の 再編を検討していくべき	まずは小学校を優先し て再編を検討していく べき	まずは中学校を優先し て再編を検討してい くべき	まだ学校再編を検討す る段階ではない	学校再編を検討する必 要はない	行政にまかせる	わからない	その他	無回答
全体	543	128	94	34	137	23	26	42	53	4	2
八手庭	8	5	0	0	1	2	0	0	0	0	0
横山	12	2	0	1	6	0	1	0	2	0	0
大平	44	4	8	4	15	3	4	5	1	0	0
小平	14	4	4	1	1	0	0	0	4	0	0
鷺足	15	8	3	0	1	1	0	0	2	0	0
山寺	45	12	5	4	7	2	3	7	4	0	1
山下	58	19	17	6	7	0	0	5	3	1	0
つばめの杜東	24	7	3	1	5	1	0	3	4	0	0
つばめの杜西	22	6	0	2	7	1	3	1	2	0	0
浅生原	54	17	10	3	5	2	3	7	7	0	0
高瀬	36	12	7	2	9	3	0	2	1	0	0
合戦原	20	5	5	0	3	0	1	2	4	0	0
真庭	21	3	4	0	12	0	0	2	0	0	0
久保間	12	0	2	0	6	0	0	2	1	1	0
中山	15	3	2	0	9	0	0	0	1	0	0
下郷	24	2	1	1	12	0	1	1	4	2	0
町	37	5	6	2	10	5	2	1	6	0	0
上平	11	2	4	1	4	0	0	0	0	0	0
磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中浜	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
新浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
笠野	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0
花釜	45	7	10	1	11	2	4	3	6	0	1
牛橋	17	3	2	3	4	0	4	0	1	0	

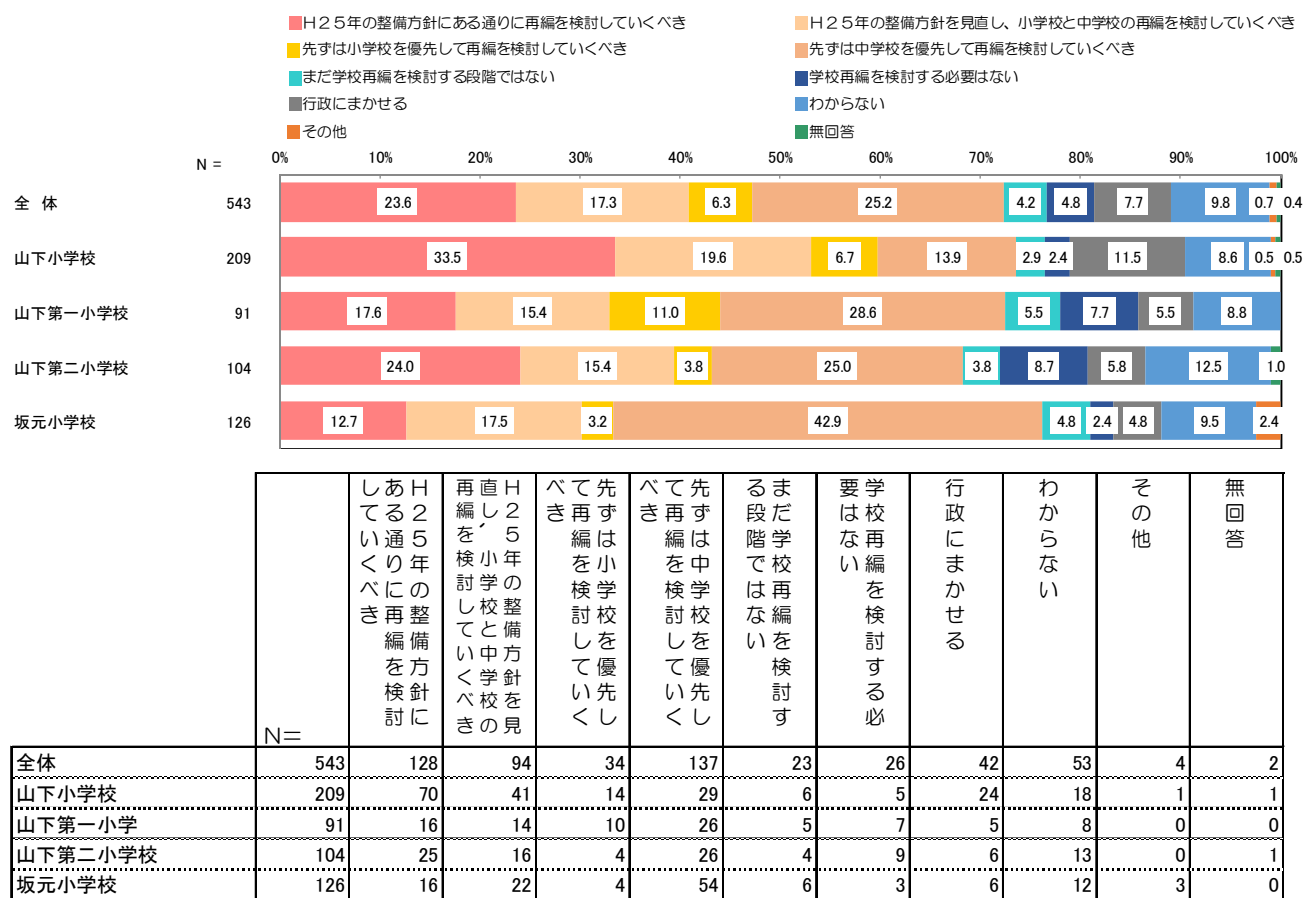
## 【小学校区別クロス集計】

ここでは、前述した「山元町小・中学校再編における検討の必要性」の結果について、小学校区別にその傾向をみていくものとする。

全小学校区で6割以上が、「今後、何らかの形でも学校再編の検討は必要」であった。

中でも「山下小学校区」、「山下第一小学校区」、「坂元小学校区」については、7割以上の回答者が「今後、何らかの形でも学校再編の検討は必要」としている。

一方、「まだ学校再編を検討する段階ではない」と「学校再編を検討する必要はない」を合わせて多かった小学校区は、「山下第一小学校区」13.2%、次いで「山下第二小学校区」12.5%、「坂元小学校区」7.2%であった。

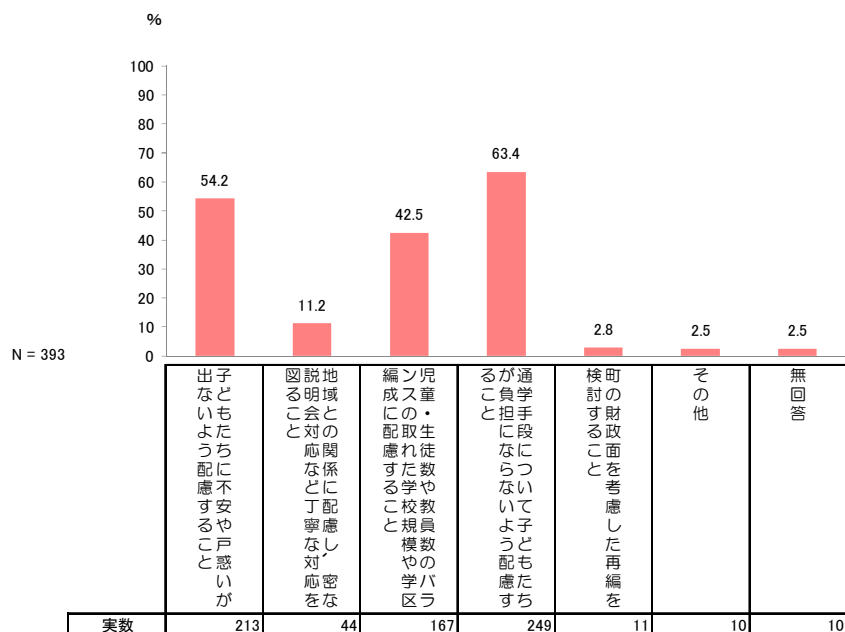


※構成比が0.0%の項目については、グラフ内の値(数値)の表記を省略している。

## (2) 再編を検討していく際に重要と考えること（複数回答）【問 10】

前述した「今後、何らかの形で学校再編の検討は必要」とした回答者 393 名について、再編を検討していく際に重要と考えることは何かを確認した。その中で最も多いのは、「通学手段について子どもたちが負担にならないよう配慮…」249 票（63.4%）、次いで「子どもたちに不安や戸惑いが出ないよう配慮…」213 票（54.2%）、「児童・生徒数や教員数のバランスの取れた…」167 票（42.5%）であった。

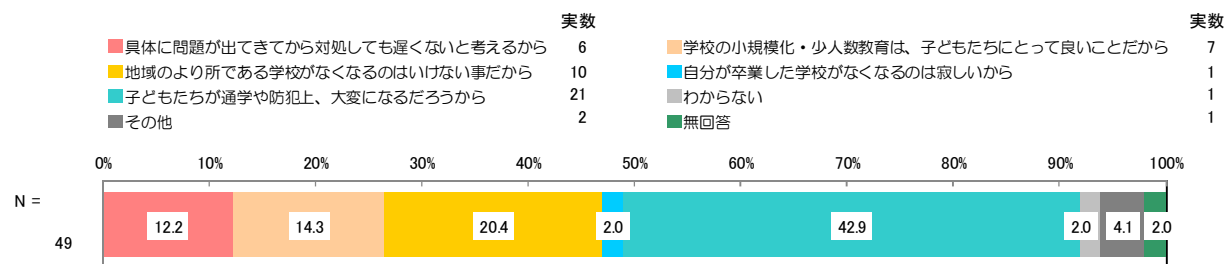
このことから、回答者の 6 割以上が通学手段において子どもたちに負担が出ないことを望んでいることが伺える。



## (3) 再編を検討する段階ではない・必要ないとしたこと【問 11】

また、「再編を検討する段階ではない」「再編を検討する必要はない」とした回答者 49 名について、その理由を確認した。その中で最も多いのは、「子どもたちが通学や防犯上、大変になるから…」42.9%、次いで「地域のより所である学校がなくなる…」20.4%、「学校の小規模化・少人数教育は良いこと…」14.3%であった。

このことから、「再編の検討段階でない・必要ない」とする回答者と前述の「再編を検討する際に重要と考えること」の回答者については、いずれも「子どもたちの通学」を一番に考慮した回答であったことが伺える。



## 5 小・中学生の意向調査

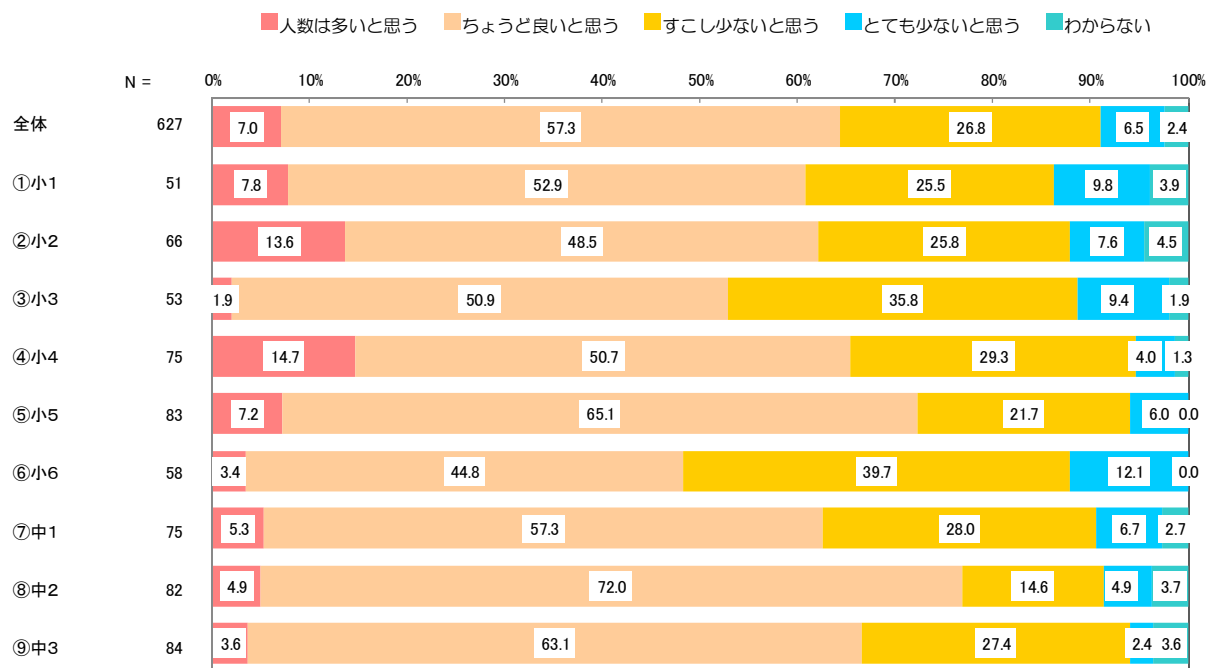
### (1) クラスや学校全体の規模について【問 12】

ここでは、保護者と一緒に小・中学生の子どもたちにも学校規模について感じることを確認した。

小・中学生全体でみると、最も多いのは「ちょうど良いと思う」が 57.3%と半数以上を占める。「すこし少ないと思う」「とても少ないと思う」を合わせると 33.3%となり、約 3 割の小・中学生はクラスや学校全体の規模について少ないと感じていることが伺える。

「在籍するクラスの人数や学校全体の人数について」の問いで、小学校で最も多いのは「ちょうどよいと思う」で、小学 2 年生と 6 年生を除く全ての学年は 50%以上との回答であった。中学生も同じく「ちょうどよいと思う」が 50%を超えるものであった。

次に「すこし少ないと思う」「とても少ないと思う」を合わせて最も多かったのは、小学校が小学 6 年生が 51.8%、次いで 3 年生 45.2%、2 年生 33.4%であった。中学校では、中学 1 年生が 34.7%と最も多く、次いで中学 3 年生 29.8%であった。この結果については、当意向調査実施年の各学校児童数・生徒数を見ると、少ないと感じる学年は、他の学年よりも人数が若干少ないものであった。



	N=	人数は多いと思う	ちょうど良いと思う	すこし少ないと思う	とても少ないと思う	わからない
全体	627	44	359	168	41	15
①小1	51	4	27	13	5	2
②小2	66	9	32	17	5	3
③小3	53	1	27	19	5	1
④小4	75	11	38	22	3	1
⑤小5	83	6	54	18	5	—
⑥小6	58	2	26	23	7	—
⑦中1	75	4	43	21	5	2
⑧中2	82	4	59	12	4	3
⑨中3	84	3	53	23	2	3

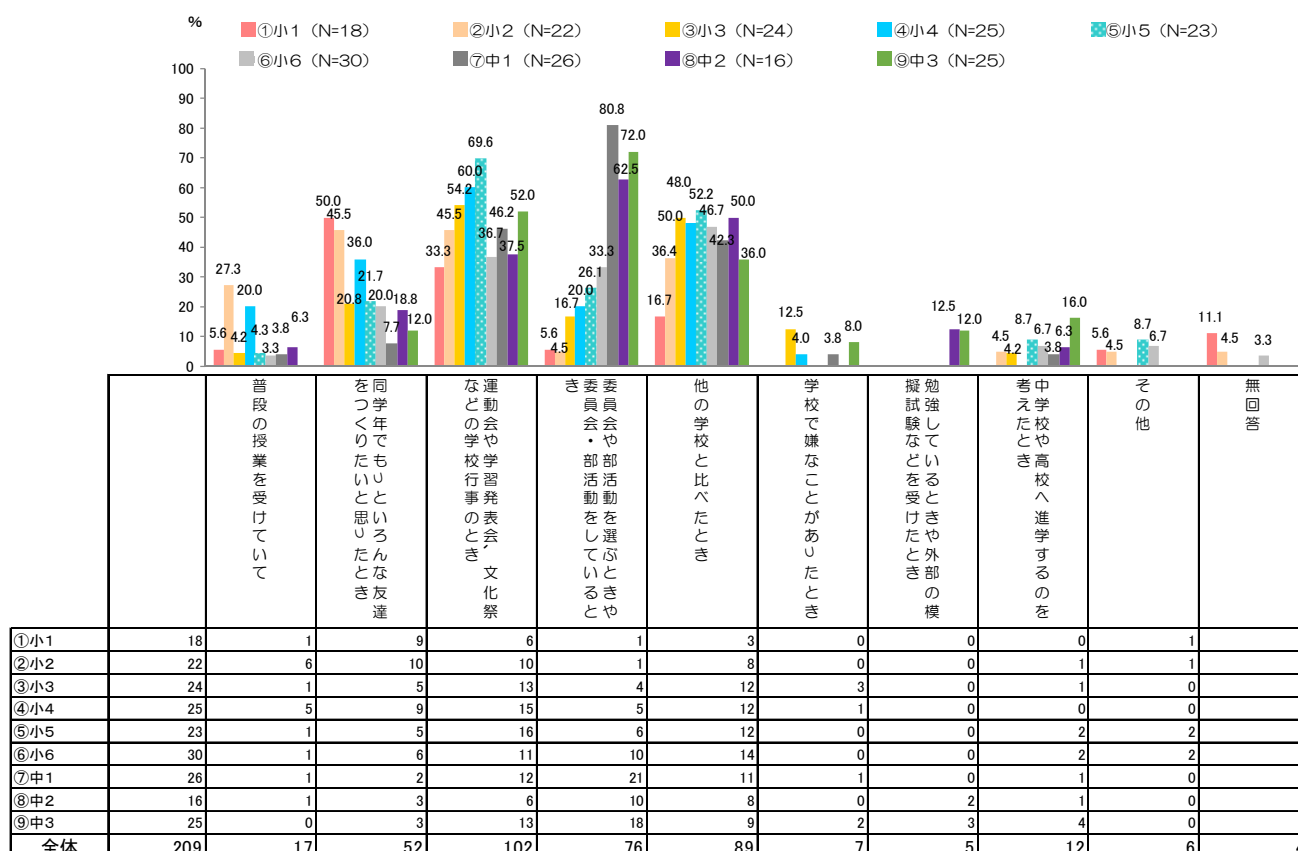
## (2) クラスや学校全体の規模で少ないと感じたとき（複数回答）【問 13】

前述した「すこし少ないと思う」「とても少ないと思う」と感じ回答した子どもたちについて、どんな時に少ないと感じたのかを確認した。

全体的に最も多いのは、「運動会や学習発表会…学校行事のとき」102 票、次いで「他の学校と比べたとき」89 票、「委員会や部活動を選ぶとき…」76 票、「同学年でもっと友達を作りたい…」52 票であった。

中でも中学生においては、「委員会や部活動を選ぶとき…」が1年から3年生において全て6割を超えて少ないと強く感じていることが伺える。

問 13 クラスや学校全体の人数が少ないと感じるとき ※複数回答



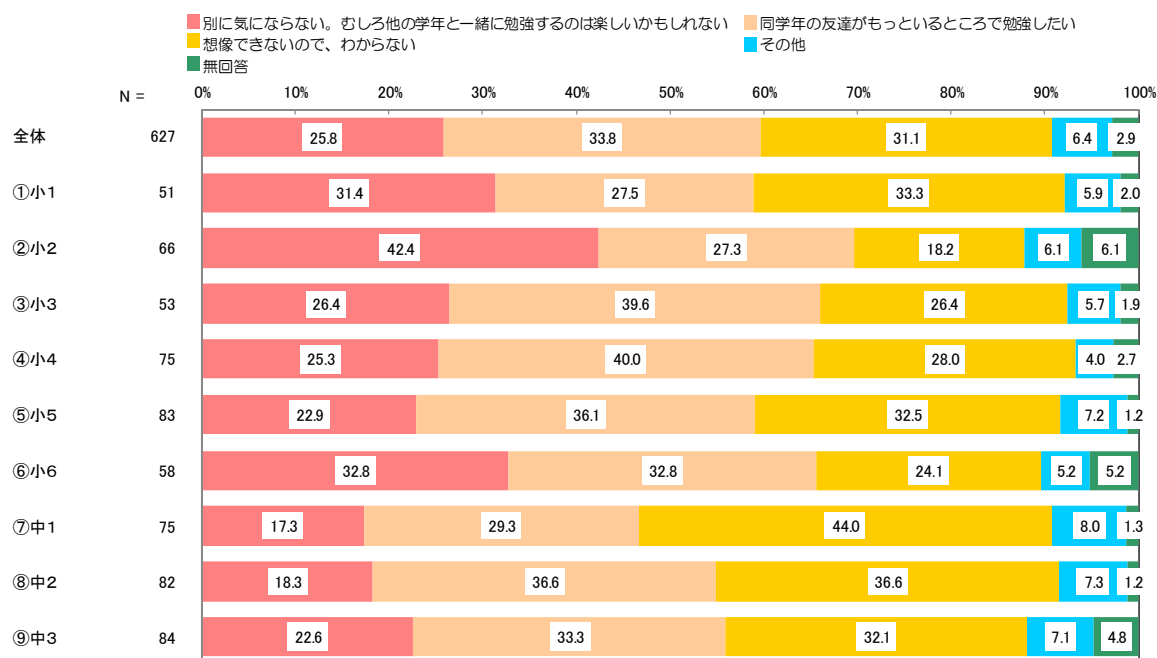
※構成比が0.0%の項目については、グラフ内の値(数値)の表記を省略している。

### (3) 複式学級の編成について【問 14】

仮に自分が複式学級になるとしたらどう思うかの問いについて、小・中学生全体でみると、最も多いのは「同学年の友達がもっといるところで勉強したい」で33.8%、次いで「想像できないのでわからない」が31.1%、「別に気にならない、むしろ他の学年と一緒に勉強するのは楽しいかもしれない」25.8%であった。

「別に気にならない…」で最も多かったのは、小学校が小学2年で42.4%、次いで小学6年32.8%、中学校では中学3年が22.6%、次いで中学2年18.3%であった。次に「同学年の友達がもっといるところで勉強したい」で最も多いのは、小学校は小学4年40.0%、次いで小学3年39.6%、小学6年36.6%であった。中学校では中学2年が36.6%、次いで中学3年33.3%であった。

また、「想像できないのでわからない」で最も多いのは、小学校が小学1年33.3%、次いで小学5年32.5%、小学4年28.0%であった。中学校では、中学1年44.0%、次いで中学2年36.6%であった。学年が上がるにつれて、「同学年の友達がもっといるところで勉強したい」と「想像できないので、わからない」の割合が増加している傾向にあった。



	N=	別に気にならない。むしろ他の学年と一緒に勉強するのは楽しいかもしれない	同学年の友達と勉強したい	想像できないので、わからない	その他	無回答
全体	627	162	212	195	40	18
①小1	51	16	14	17	3	1
②小2	66	28	18	12	4	4
③小3	53	14	21	14	3	1
④小4	75	19	30	21	3	2
⑤小5	83	19	30	27	6	1
⑥小6	58	19	19	14	3	3
⑦中1	75	13	22	33	6	1
⑧中2	82	15	30	30	6	1
⑨中3	84	19	28	27	6	4

## 5 自由記述（小・中学校保護者意向調査）

### 【小中学校の再編について】

再編・統合は小中絶対にすべき。なぜまだしていないのかが不思議なくらい。年間出生数が60人前後の山元町に、4小2中もある必要性が感じられない。
小学校二校区、中学校一校区への再編に賛成、早急に実現してほしい。好きな部に入部することができ、意欲・能力開発の向上につながると思う。
子どもは多い方がいいので統合してほしい。
一学年一学級の状態ではじめや不登校になった場合、逃げ場もなく再起するきっかけがなくなる可能性も。
成長につれ友人とのトラブルの増えてくることを思うと、親としてはクラス替えも必要だと思う。
もめごとはあると思うが友人が増える事は子どもたちにとって良いこと。
複式学級は勉強の遅れが心配されるし、子どもには多くの友人を作してほしい。
津波の来なかった所の学校に通わせたい。
少人数のメリットはもちろんあるけれど、これからもっと少子化が加速するにあたって是非再編を進めてほしい。
児童数が確実に減少していているので統合した方がよい。
町内に小中学校をひとつずつにするのがよい。
友人が増えるのはいいこと。人数が多いほどいろんな考えの人がいてプラスになると思う
子どもが小学生のうちには小規模校のメリットを感じる事も出来たが、成長するにつれて競争相手がいないことで向上心が生まれないのではと心配。受験やその先の環境に適応できないのでは。
早く統合してほしい。九年間固定された交友関係の中にいると、まず高校へ進学した際ギャップに悩むと思う。それまでの間にたくさんの人と関わって、学校でしかできない経験を多く積んでほしい。
再編により人数が増える事によって部活動が活発になるし、学力向上にもつながると思う。
早く再編を進めて大人数の中での生活を体験し、高校進学への不安を解消させてほしい。また、子どもと初めて学校再編について深く話し合い、少人数の中ここまでつらい思いをしていたのかと正直ショックを受けた。
小中一貫校も一つの考えだと思う。
小学校については入学性が三人になる平成31年度までに検討、再編を。中学校は早急に手を付けた方がいいと思う。
教育を受ける環境について、山下地区と坂元地区で差が出ないようにしてほしい。また、複式学級は学力低下が懸念されるので極力避けたい。
子どもの少ない山元町に、こんなに学校の数は必要ないと思う。
少人数のクラスは人間関係の問題もあり、親でも精神的につらいときがある。
中学校は部活の関係もあるので統合したほうがよい。
小学校は現状問題がないと考えるが、中学校では専門教科の先生に教わるのとそうでないのは学力に差が出るので、教師が免許外の教科を担当することのないようにひとつになってもいいと思う。



現状再編はしなくてよいと思う。特に中学校は町内に一校しかないのはさみしいし、他校との交流も必要だと思うのでこのままでよい。
小学校は地域のシンボルであり、他の地域より移住するにあたり大きな検討材料となる。コンパクトシティ化を進めるのは財政的なことから仕方ないと思うが、町全体に人がいた方が活性化すると思う。
人数が減ってきたからという理由での統合は安易だと思う。それぞれの学校毎に特色があり、守ってきた伝統行事などもあるから。守り続けてきたものをどうしていくか考える必要がある。
入試制度が近年変わることもあり、その時期の再編は考え難い。
ひとつの駅がある以上、保育所・小中学校はそこにあるべき。
再編によっていじめや中傷などのトラブルがあった場合行政はどう動くのか。そういったサポート面の準備をしてないのであれば検討する段階にない。
今の生活に合わせて職を探して働いている。統合により子の登下校時間が変わると対応できない。
中学校の生徒数は現在のままでちょうどいいと思うので、総合はしない方がよい。
小学校は少人数でじっくり勉強してほしい。友人同士も仲良くなり和気あいあいとしていてよい。
出来れば現在通っている学校で卒業させてあげたい。
再編を行う理由が明らかにされていない。明確な方針が決まらない限り賛成できない。

## 【部活動、学校行事について】

生徒の減少により部活動の選択肢が少なくなったり、子どもたちが一生懸命続けてきたスポーツを継続できなくなるようなことは回避できるよう検討してほしい。
部活動で人数が足りないと伸びていけないのでは。ライバルがいた方がよい。
部活動だけでも統合するなど柔軟な考えはないのか。やりたい活動ができない、選択肢のない子どもがかわいそうである。
部活動の選択の幅確保のための再編ならおかしい。部活も大事だが、中学校生活はそれが全てではないと思う。部活に費やす時間を他の能力を伸ばす時間に使ってはどうか。
中学校は勉強も大事だけど部活動も重要だと思う。やりたい部活をできるようにしてあげてほしい。
中学校の再編を機に部活動を増やしてみてもいい。
通学時間の縛りや家庭の事情によって本人のやりたい部活動ができない場合があるのではと懸念がある。
選択肢が少なくて子どもがかわいそうなこと、親の送迎の負担も含めて少人数の活動は難しいと感じる。
人数が少なくて試合に出ることがかなわないので、部活動だけでも早く合同にできるようにしてほしい。
本当にやりたい部活の人数が少なく廃部になってしまった例もあるので一緒に活動した方がよい。
部活動がうまく運営できない現実で、合同になったり敵になったりと子どもたちがかわいそう。
スポ少を頑張ってきても中学校で部活がないとかわいそう。外部のスポーツクラブに入るとなると保護者の負担も大きくなる。中学での運動は身体作りや礼節など学ぶことも多いので、現状とても残念。

## 【学校区、通学路、通学バス等について】

スクールバスやぐるりん号など、通常の登下校時間に加えて早い下校時間や部活動終了時間に合わせてのフレキシブルな運行を希望する。
長期的視野で小学校二校区とあるが、早めに区割りを示してほしい。
山下小学校と中学校は一番伝統もあり人数も最も多いので、存続するのが当然だし最も良い。将来的に山下第一と第二小学校を、第二小学校に集約しても良いのではと思う。ただし学年がークラス、また一桁の人数になってからでよい
小学校の二学校区の区割りは人数のバランスを考えて編成してほしい。また、中学生はぐるりん号をスクールバスとして利用することで、遠方の生徒も通学の負担が少なくなるのでは。
統合となると通学が困難になる生徒もいると思うので、スクールバスを運行して子どもの負担にならないようにしてほしい。
山下第一小学校を山下小学校に統合すればいいと思う。現在山下小学校と山下第二小学校の学区割りが曖昧。
統合となると自転車通学が難しくなる生徒が不便と感じないようスクールバスなどが必要。また中学生は土日の部活もあるので、その際の通学手段も家族に負担がかからないよう検討してほしい。
長距離通学や不便なところに住む生徒にも目を向けてほしい。毎日保護者が送迎するようになると、負担が大きくなり人口減少が加速すると思う。
ぐるりん号を無料のスクールバスにすればよい。
統合をするのであればスクールバスは必須。
小学校も一校にまとめてしまえばよいのでは。二校区にしようとするから学区割りのバランスなど問題が出てくるのだと思う。山下・坂元地区にそれぞれ小中どちらかを置けば不公平感がないように思う。
通学手段について。バスならばスクールバスが出るのかぐるりん号の利用になるのか、その際の料金の有無が気になる。
統合の際はスクールバスなど交通の手段を整えて、保護者も安心して通わせられるようにしてほしい。
通学手段にバスを取り入れてほしい。また17～18時台の本数を増やしてほしい。
防犯という面も考慮して、安全・安心の通学方法を確保してほしい。
問題は通学手段の確保と、人数のバランスをの悪さをどう学区割りして解決するのか。
どんな形にせよ通学方法が気になる。
通学時間のバスの運行を増やすなど、生徒の負担にならないように通学できればよい。
遠方から通学する生徒のためにスクールバスを運行させてほしい。
山下第二小学校が建設されたことによって、学区割りが曖昧になっているように感じる。この先きちんと整理してほしい。その方が地区行事などで地域との関わりが深くなる。

## 【その他】

統合にあたり名称を一新することで、廃校になった学校卒業者からの反対意見が少なくなるのでは。
卒業者の意見よりも、現状の教育という視点を重視して検討してほしい。
再編はいいと思うが、統合にあたって学校名を復興にちなんだ名称にしてほしくない。現在の名称を残してほしい。
被災した世帯としてない世帯の格差がひどい。子どもたちも敏感なので、給食費を無料にしてほしい。
残す学校に付いては、津波が怖いので6号線より山手の学校にしてほしい。
再編は必要と思うが、子どもたちが新しい環境にすぐに慣れるか心配。特に中学生は部活や受験においても戸惑いが多いと思う。せめて在校生はその学校を卒業させてあげられないものか。
子どものために学校再編を考えるのであれば子どもやその親の意見を重視すべき。それぞれの伝統が大事でそこを心配する年配の意見もあるが、子ども第一で考えてほしい。
在学途中の統合になった場合、全く知らない地域の人(保護者)との交流が少し心配。
別な学校が一緒になることで、環境の変化によるストレスからいじめや仲間はずれが増すことが心配。
在学中の統合となると生徒がなじめるか心配。統合後半年くらいは一人ひとりカウンセリングするなどのケアを考えてほしい。
人数が多くなる分、授業参観の時ゆっくり様子を見られなくなりそう。また、行事開催時の駐車場や校庭の場所取り問題が心配。
再編が実行されるときにいる在校生に心のケアをしてもらえればいい。
まずは子どもの意見を大事にして、大人の考えのみで進めることのないようにお願いしたい。
考える材料がない。想像できないので再編した学校の例や、メリット・デメリットを含めた生徒な保護者の意見などたくさんの情報が欲しい。きちんとコミュニケーションしてほしい。
在校生やこれから入学する生徒とその保護者よりも卒業生の方が圧倒的に多く、母校愛や自身の感情による意見などが強くて、再編において当事者の意見が通りにくいのではという懸念がある。
中学校に入学する子どもたちが不安に思っているので、早く町の方針を決めてほしい。
今まで少人数で授業を受けていたのに、倍近くの子がいる学級となると行き届いた教育ができるのか不安。
町民全員かもしくは各世帯に付きひとりずつを説明会に強制参加させ、意見を集約した上で今後の小中学校再編を検討してほしい。
地域の交流も大事かもしれないが学校ならではの行事がおざなりにされているような気がする。伝統芸などは町の行事でつないでほしい。地区や伝統を大事にするばかりがよいことなのか疑問に思う。
子どもが多いので、体操着が変わったりすると負担が大きい。町から支給するなど考慮してほしい。
現在バス通学しているが、短縮授業の際バスでの帰宅ができないことが多く困っている。バス時間を考慮して授業を組んでほしい。
統合する良い機会だと思うが、山下第二小の再建は長期的に見て必要だったのか疑問。
再編を検討する順番が違う。山下第二小を再建せず、山下・山下第一・山下第二小学校をひとつにすべきだった。すべての小学校が同時期に一緒になることによって、子どもたちの不安が少なくて済んだのでは。今回のタイミングでの統合となると子どもたちに温度差が出てうまくいかないと思う。この再編検討は失敗と感じる。

<p>小学校をひとつにまとめるとしても、津波が来た所に山下第二小を建設するのはどうしてもおかしい。山下第一小も不便だし、やはり国道より西の山下小に統合すべきである。</p>
<p>山下第一小と山下小を統合すればよいと思う。いずれ山下第二小に統合する予定があったのなら、その校舎が小さいのはなぜか。山下小と山下第二小の学区が曖昧。どういう意味で建設したかわからない。自己満足のように思える。</p>
<p>長期的な視野で見て小学校二校と予定しているのに、なぜ山下第二小を建てる必要があったのか。山下第一と山下第二を中浜と坂元のように統合すればよかったのでは。全く理解ができない。このアンケートは震災後すぐにやるべきことだったし、もっと地域の保護者の意見を聞いてほしい。震災後、町外に子どもが流出しているのは分かっていたこと。言いたいことはたくさんあるが、言っても山元町は「決まりですから。」の一言で何も変わらないのを思い知らされている。何をどう言っても決まってしまうのでこれ以上言うことはない。</p>
<p>山下第二小の再建は無駄だった。当初より児童が減ることはわかっており、山下小に山下第二小を統合すればよかったと思う。現町長及び、当時の教育長の間違った判断だ。</p>
<p>山元に小学校が多すぎる。山下第二小は建てる必要がなかった。そんな予算があるのなら高校などを作ってほしかった。</p>
<p>山下小、山下第一小、山下第二小の場所がいまいち。山下第一と山下第二を統合させた方がいいと思うが、山下小と山下第二小の距離感を考慮すると微妙なところ。町の財政を考慮しつつの再建になると思うので、落としどころが難しいように思う。そもそも、そういう考えから山下第二小をあの場所に再建したのが意味不明。しかも、あの規模の大きさでは受け入れ児童数が限られてしまい、かなり厳しいのではと思っている。</p>
<p>今更言っても遅いが、山下第二小は必要だったのか。どうしても建設しなければいけないものだったのか。山下小学校の校舎で数年過ごし、そのまま統合でもよかったのではないかと、今でも思っている。児童数が減るのはわかっていたこと。同じ学区に二つも小学校があるのはおかしい。</p>
<p>この意向調査を行うくらいなら、山下第二小を再建する必要はなかったのでは。子どもたちは自分の学校に他校生が間借りするのを嫌がり、大人の見えないところでいさかいがあったと聞く。山下第二小建設にあたり、大きな校舎、学校名の変更で一つにまとめれば全員何事もなく通えたと思う。再編をすると、つい最近再建したばかりの山下第二小はどうなるのか。再建した意味があったのだろうか。</p>
<p>統合した際、現在のどの校舎を利用する予定なのか。一番新しい山下第二小に受け入れるには少し狭いように思うが、問題はないのか。</p>
<p>山下第一小の児童数が少なく再編の検討対象になる学校だと思うが、どのように山下地区の学校を統合したいのか。統合を考えていたのなら山下第二小を建てた意味がないのでは。近くに山下小もあるのに。</p>

## 【小中学校の再編について】

保育所で一緒だった友人と、また一緒に学校に通えるのは嬉しい。
友人がたくさんいると嬉しい。できることが増える。
自分より下学年の今より子どもが少なくなったとき、友人がいっぱいいた方がいいので合併したほうがよい。
たくさんの友人と一緒に勉強したい。
同じ学年の友人がたくさんいた方が学校は楽しそう。上級生と同じ教室になるのはいいけど、下級生とは嫌。
新しい友人ができるから嬉しい。
複式学級は嫌だ。
人数が少ないと寂しいので、一クラス30人台のクラスがよいと思う。もっとたくさんの友人をつくりたい。
津波の来なかった学校に通いたい。坂元中学校の生徒と一緒に学習するのは良いと思う。
統合した方がよいと思う。多くの人と生活を共にすることで人間関係を築く力やコミュニケーション能力も高められる。
少ない人数でクラス替えもなくやってきているので嫌なところばかり見えてきてしまう。いじめの原因にもなるし早く合併してほしい。
一クラスだと友人関係で何かあっても逃げ場がない。
各学年一クラスずつで新しい友人関係が築けないのでは、高校に進学した時困惑しそうで不安。複式学級もやめた方がよいと思う。
学校はつまらない。人数が少ないので気の合う友人もおらず他校がうらやましい。震災体験のトラウマがありながら、学校生活まで楽しくないので正直つらい。
統合すれば選べる部活も増えて楽しそう。
再編は賛成だが、一年や二年で急に進めるのはやめてほしい。
もし中学校がひとつになったら、お互いの学校に今までなかった部活も増えるのではと期待できる。坂元中が複式学級になるのであれば統合すればよいと思う。
たくさんの友人の中で学校生活を送りたい。
四つの小学校から集まって中学校生活を送る方が、多くの友人の中で勉強や部活も楽しくできそう。小学校は少ない人数だからこそ、活躍する機会が多くあるのでこのままでもいい。
クラス替えをしたい。人間関係を変えたい。
たくさんの友人と勉強を教えあったりしたい。いろんなことを体験したい。
幼稚園からの友人と一緒に勉強できるので、統合することは良いことだと思う。
これから人数が減っていくことはわかっているので統合したほうがいい。何年も前から出ている話なので、今後の事を早く決めてほしい。
坂元小学校は今のままがよいが、中学校は統合してほしい。

今のままがよい。以前山下小に山下第二小の生徒がいたとき、第二小の高学年の生徒が怖く感じた。
学校があるだけでそこが地域の中心となり、生徒と住人とのコミュニケーションの場になる。少子化だからこそ、より周囲とのつながりが重要。
環境が大きく変わることによって、その変化に喜びを感じる人もいれば負担に感じる人も多いと思う。したがって、まだ再編を検討する必要はない。
統合はしたくない。
坂元中学校は坂元中学校のままでいい
統合は自分の通っていた学校がなくなる可能性があるから嫌だ。また、統合しても環境の変化に慣れるのに大変になる。
母校を残したい思いはあるけれど、人数が減ることを考えると中学校はまとめた方がよい。
そもそも少人数の何が悪いのかと思う。再編によってその学校の文化や伝統、歴史がなくなってしまうのが嫌なので反対。
他学年同士でも仲良くできているのに他校と一緒にするのは嫌だ。遠くの学校に通いたくない。今の学校で卒業したい。
友達作りが苦手なので、今のクラスの友人と別になるのが嫌だ。
他の小学校と一緒にすることにとっても不安を感じる。
少人数は気にならない。学年関係なく仲良く楽しくできればよい。
心配事は特にない。今の人数でも楽しいし、他学年と同じ教室で勉強するのも楽しそう。
他校の生徒と一緒に勉強するのに抵抗がある。
統合が決まったら受け入れるしかないが、自分の通う・卒業した学校がなくなってしまうのはさみしい。
少人数で大変なことはあるが、授業で先生に質問しやすいし全校みんなが友人で楽しい。
スクールバスで通わなくてはならなくなると自由な時間が少なくなる。学校は学びの場であると同時に遊び場でもある。特に公園などない山側の地域は学校が唯一の遊び場。
今から違う生活になるのは不安。今の学校や他校にも先輩から引き継いできたことがあって、やるが増えたりできないことが出てきたりすると嫌だ。
今までどおり先生の目の行き届く環境で勉強したい。
複式学級になってもよいので、このまま同じ小学校で生活したい。
近くて安全なのでこのままの学校に通いたい。

### 【部活動、学校行事について】

今まで頑張ってきたスポーツを続けたい。
人数が少ないために部活動に支障が出ている。先生の数も充分でないのだからきちんと指導してもらえなかった、という思いがある。
競争心もなく、必ずレギュラーという環境は良くない。
ジャンルが少ないだけでなく、入った部でも少人数が理由で活動できないことや他校と合同で試合に出なければいけない部もある。練習しにくい場面も多い。
もっと多くの友人と部活がしたい。
人数が少なくて練習にならない。
団体戦に出ることができず、人数のいる学校が（一校しかないのに）優勝して県大会に出場しても一回戦負け。中学校で県大会に行けないと入試でとても不利なので、本当に何とかしてほしい。
先生が頼りにならず保護者がサポートしている現状。コーチなど専門の指導者に来てほしい。
部活動を減らさないでほしい。
今後さらに人数が減り部活の種類が少なくなったとき、自分やこれから入ってくる後輩がやりたいことをできなくなるのが心配。

### 【学校区、通学路、通学バス等について】

統合した際の通学が大変になりそう。
統合したら坂元市区の通学が大変になりそう。スクールバスなどを出した方がいい。
通学の時間に合わせたスクールバスの運行や公共の交通機関の対応をお願いしたい。
通学についてどう考えているのか。スクールバスが出るのか不安。
学校の場所によって自転車で通えるかどうか心配。

### 【その他】

山下小学校が一番広いのでそこがよい。でも、トイレや手洗い場が古くて怖いイメージがあるので新しくしてほしい。
統合には賛成だけど、母校がなくなるのは悲しい。何らかの形で母校は残しておいてほしい。
再編は仕方のないことだが、各学校毎にある教育方針の違いや部活動における熱意の差があるであろうことが嫌だ。次第になくなっていくものと思うが、先輩方が作り上げてきたカラーを急に他校から来た人と塗り替えていくことにためらいを感じる。
山下地区が中心でではなく、山下・坂元が平等な関係を築けるのなら賛成。また両地区の保護者が仲の良い関係を作ること大事だと思う。
現状学校行事なども盛り上がりに欠ける。
友達と離れたくない。
人数が少ないと、いじめ問題やきちんと一人の生徒を教師が見ることができるか気にかかる。





**山元町小・中学校再編にかかる小・中学校保護者意向調査**

**【報 告 書】**

平成 3 0 年 3 月

山元町教育委員会

# 目 次

## 【小・中学校保護者意向調査】

### 1章.調査の概要

(1) 調査の目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査期間	1
(4) 調査項目	1
(5) 回収状況	1

### 2章.意向調査結果

1 回答者の属性	
(1) 性別	2
(2) 世代別	2
(3) 居住する行政区	2
(4) 居住する小学校区	3
(5) 中学生以下の子どもの人数	3
2 学校の存在意義と学校の教育環境に期待するもの	
(1) あなたにとって学校とは（複数回答）	4
(2) 小学校の教育環境に期待すること（複数回答）	4
(3) 中学校の教育環境に期待すること（複数回答）	5
3 望ましい学校規模	
(1) 望ましいと考える小学校1学年あたりのクラス数	5
(2) 望ましいと考える小学校1クラスあたりの児童数	5
(3) 望ましいと考える中学校1学年あたりのクラス数	6
(4) 望ましいと考える中学校1クラスあたりの生徒数	6
(5) 複式学級の編成について	6
4 学校再編検討の必要性について	
(1) これからの山元小・中学校再編の検討について	7
(2) 再編を検討していく際に重要と考えること（複数回答）	12
(3) 再編を検討する段階でない・必要ないとしたこと	12
5 小・中学生の意向調査	
(1) クラスや学校全体の規模について	13
(2) クラスや学校全体の規模で少ないと感じたとき（複数回答）	14
(3) 複式学級の編成について	15
6 自由記述（抜粋）	16